

令和2年度 学 校 評 価 報 告

草加市立草加小学校
(令和3年2月3日作成)

1 学校教育目標	
(1) 考える子 (2) 思いやりのある子 (3) たくましい子	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
<p>○育てます ～子どもたち一人一人を大切にした 教育活動の推進～</p> <p>(1) 確かな学力の伸長 (2) 心豊かな児童の育成 (3) 健やかな体づくり</p> <p>○開きます ～地域と共に歩む学校～</p> <p>(1) コミュニティースクールの推進・充実 (2) 学校公開の機会 (3) 学習予定表の配付 (4) 地域の教育力の活用</p> <p>○整えます ～安全・安心で潤いのある学校～</p> <p>(1) 潤いのある環境づくり (2) 安全対策の充実</p>	<p>成果</p> <p>○校内研修を通して授業研究を行うなど、新学習指導要領を踏まえた教員の指導力向上に努めた。</p> <p>○地域の教育力と学校環境を生かした特色ある教育活動を展開し、心豊かな児童の育成に努めることができた。</p> <p>○家庭、地域、児童の安全、安心を最優先した施設の補修を行った。</p> <p>○ICT環境の整備と活用方法の研修会を積極的に実施し、一人一台のタブレットを積極的に活用した。</p> <p>課題</p> <p>●家庭、地域、児童の安全、安心を最優先した施設の改修</p>

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校経営目標、方針 校務分掌組織 適所への適材配置 職員会議等の運営 予算の執行・決算、監査等 	A	<p>○学校評価の考察をもとに改善点を部会や学年で見直すなどして組織力の向上が図れた。</p> <p>○職員会議や打合せで共通理解・共通行動を図り、全職員一丸となり教育活動を実施できた。</p>
	②研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> 研究組織、計画、実施 校内研修の推進 授業改善への取組 校外研修会への参加 人材育成 	A	<p>○算数科を中心に校内研修を行った。組織をつくり、3回の研究授業を行うなど研修を深めることができた。</p> <p>○学力調査結果を分析し、活用方法についての研究を深めることができた。</p>
	③保健管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 保健計画、安全計画 環境衛生の管理 健康観察、安全点検 緊急事態発生時の対応 危機管理マニュアルの作成・活用 	A	<p>○安全点検表をもとに把握した修繕箇所や危険箇所を素早く対応し、安全・安心に対する意識を共有したりすることができた。</p> <p>○学校行事として行う避難訓練とショート避難訓練を合計6回実施するなど緊急時の対応について児童への意識も高めることができた。</p>
	④情報管理・施設設備管理	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理、保護 施設設備の管理と有効利用 	A	<p>○情報管理に努め、個人情報の管理徹底を図った。</p> <p>○特別教室について、教室毎に使用予定表を作成することで、有効利用することができた。</p>
	⑤地域との連携 開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校情報の発信 学校公開の実施 学校運営協議会の推進 地域、校種間連携 PTA活動の活性化 	B	<p>○全学級が学習予定表を配付するなど、学校情報を積極的に発信している。</p> <p>●コロナ禍のため保護者がPTA活動に積極的に参加できなかった。</p>
	⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> 目指す子ども像の共有 15年間を通じたカリキュラムの編成 一貫教育推進のための組織づくり 	B	<p>○算数を中心にした学習内容や生徒指導の連携では、草加中と意見交流を積極的に行うことができた。</p> <p>●コロナ禍のため幼稚園、保育園とも毎年行っていた交流の多くを中止した。</p>

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○実態等をふまえた学校教育目標を設定し、学校グランドデザインを作成し周知徹底を図った。 ○前年度の学校評価の反省を生かした教育課程を編成・実施し、工夫改善を図った。 ●学校評価における児童及び保護者の声を教職員で確実に共有し、具体的な改善を進めていく。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上プランの計画と見直しを教科部会中心に学期ごとに行うなど活用することを重点として実践を積み重ねた。 ●新学習指導要領を踏まえた授業改善を行っている。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学校公開日に授業公開を行うなど道徳の授業を要に豊かな心の育成に努めた。 ○全学級共通で道徳振り返りカード「こころのおと」を活用した。 ○長期休業期間を活用し、「親子で話す道徳」を実施した。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○専科が計画的に授業を行い、充実した学習活動を展開することができた。 ○98%の児童が外国語を好きになり、意欲的に学習活動に取り組むことができた。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事の精選を図りながら、児童一人一人が活躍できる場として実施することができた。 ●コロナ禍のため平成塾の方との交流ができなかった。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の特色を生かした学習活動を計画的に実施することができた。 ○年間及び単元指導計画の見直しを行い、プログラミング教育を位置づけ、全校統一で段階的な指導を行うことができた。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導委員会を毎月実施し、情報交換や具体的な対応を検討するなど、適切な指導に努めることができた。 ●管理職の指導の下、生徒指導主任を中心にさらに児童一人一人にきめ細かく対応していく。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○第6学年における算数や特別活動に中学校教員と連携を密に指導をしている。 ○段階的な学習を明確にし、近隣の学校と連携し、キャリアファイルを活用した学習を行った。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○児童一人一人の実態に応じた計画的な交流学習を行うことで、通常学級との交流が深めた。 ○通常学級に在籍する支援を要する児童に対して、児童実態報告会、個別カルテ、生徒指導委員会など、多くの機会を捉え情報を共有した。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○司書教諭と学校司書との連携により、児童が本に親しむ環境整備が進んでいる。 ○全教職員が購入図書を選定に関わり、新学習指導要領に対応した図書を計画的に購入している。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットや電子黒板などの機器を活用した授業を行う頻度が上がっている。 ○SNSの使い方について、本校の約束を作成し、保護者に周知した。
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○人権作文、標語など学校全体で取り組むことができた。 ○道徳や総合的な学習の時間などの時間と関連させて指導することができた。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	(1) 学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上プランを基に、教科毎の基本的な授業展開を共有することで、児童が安心と自信をもって学習に臨むことができるようになった。 ○基礎・基本の定着を目指し、校内課題研究と関連させ、計画的なチャレンジタイムの活用を図ることができた。
	(2) 体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画に具体的な指導のポイントや工夫を明記し、授業の改善を促した。 ○体力テストの結果などから課題を明確にし、教員も児童も課題を常に意識できるような効果的な指導法を研究し、実践した。
	(3) 自然豊かな学校施設の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさとの森やじゃぶじゃぶ池を活用した教育活動を展開し、豊かな心を育てている。 ●コロナ禍のため「みどりの日」「もみじの日」などの行事を行うことができなかった。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- 幼保小中を一貫した教育を継続し、自主的に算数科の校内研究を行った。学習過程や板書・ノートの取り方を統一していけるように研究を深めたい。
- 地域の教育力(家庭・地域社会、歴史民俗資料館)と学校環境(ふれあいの森やじゃぶじゃぶ池、土俵等)を生かした特色のある教育活動を展開した。コロナ禍のため、例年通りの体験学習を充実させることはできなかったが、自己肯定感が高まる心豊かな児童を育成することができた。
- 保護者、児童、教職員の「学校教育アンケート」を実施した。教育活動等に対して保護者の評価では、昨年度は17項目中10項目において概ねよい評価(90%以上)をいただいたが、今年度は、11項目において概ねよい評価をいただくなど成果として表れている。
- 施設の老朽化の改修や学習環境の整備については、多くの箇所を整備することができた。

6 次年度の改善策

- 今年度新たに始めた算数科を中心とした個に応じた指導や思考力が高まる研修をさらに深められるように教職員が主体となるような研修を行う。
- 今まで行ってきた研修を年度が変わっても引き継ぐことができるシステムを継続する。0次研修と称し、異動者のみ参加する研修を行う。
- 施設の老朽化の改修や学習環境の整備については、児童の安全など優先順位を明確にしなが、引き続き草加市教育委員会に要望を行う。
- 一人一台のタブレット等環境が整備されたため、ICT機器を使った、より効率的な指導法を全ての教職員が行えるようさらに推進する。